

地域資源利活用事業（山形県鮭川村）

事業の概要

各分野の連携強化を図りながら、**地域資源を活用した観光・体験農業メニューづくりや村の特産品開発**について協議し開発及び提供に取り組む。

事例の内容

<事業主体>

鮭川村、鮭川地域資源戦略会議

<主な事業内容>

- ①地元食材を使用した加工品の試作や試食会の開催、鮭川歌舞伎定期公演に合わせた歌舞伎弁当の開発など新商品の開発。
- ②東北農政局の事業を活用して、関東・仙台方面を中心に観光・体験農業メニューづくりに向けたモニタリングツアーの実施。
- ③村内農産物の販路拡大に向けて、有楽町・交通会館マルシェやパレスホテル大宮での農産物の販売やホテル関係者、全日本司厨士協会の方を招いてのモニタリングツアーの実施、農産物のPR。
- ④村の特産品であるきのこの商品価値の向上と消費の拡大を図ることと村全体のPRを図ることを目的に開催する「全国キノコ食味&形のコンテスト」に対して、支援を行った。また、きのこの体験メニューとしてきのこのアウトレット収穫体験を実施。

<平成23年度総事業費>

5.0百万円（うち過疎債 5.0百万円）

<鮭川歌舞伎定期公演に合わせた歌舞伎弁当>



<きのこのアウトレット収穫体験の様子>



ポイント

平成22年度から、村行政と民間（商工会や企業等の民間組織、NPO法人）が一体となって地域資源を活用した取り組みを推進する『**鮭川地域資源戦略会議**』を組織した。

行政だけでなく、民間の意見を取り入れることにより、より消費者のニーズに合わせた農産物のPR、観光業の促進が図られている。